

# GIGA PROMOTION VIDEO"junguely"/ GIGA LIVE DVD

成山 勲英

(関口久雄ゼミ)

私は高校一年生からバンドを組んでいて、まもなく6年を迎える。バンド名は「GIGA (ぎが)」。

今回の卒業研究では、そのバンド活動の集大成ともいえる、代表曲“junguely”のプロモーションビデオと、自己企画のライブを撮影/編集した映像作品を制作した。

## バンドの歴史

2002年3月、ホリピー (Guitar) が中心となって結成。何回かのメンバー加入・脱退を経て、現在はホリピーの他、ユウタ (Vocal), コジロー (Bass), テラ (Vocal), ナリヤマ (Guitar), タカヒロ (Drums), オカザキ (Dj) の計7人で活動。北陸3県のバンドが集まったコンピレーションアルバム「Vessel Grande!」に参加したり、福井県内4バンドが集まったアルバム「real eggs」も作り、精力的な活動をしている。

GIGAという名前の由来は、最初に皆で集まってバンド名を考えている時に、テラが提案して、当初は漢字で「魏我」だった。今ではアルファベットで「GIGA」。読みやすく、親しみやすいというのが理由だ。

ギガは10の9乗を表す単位で、とりあえず大きい数字、大きいものを表す名前を付けたくて、大きく成り上がるという意味を込めた。

2002年

3月...同じ寮に住んでいたコーヘイとホリピーがバンドやりたいという気持ちからメンバーを集めて魏我(ぎが)を結成(当時は漢字でGIGAだった)

5月...松木屋楽器店主催、全国バンドコンテスト“ティーンズ”で初ライブ。

8月...マー君 (Ba) が脱退、新ベーシストのフジイ (Ba) が加入。

10月...福井高専学園祭のライブを最後にフジイ (Ba) が脱退。

11月...コーヘイ (Vo) がベースに転任、そしてシューヘイ (Dj) が加入。

2003年

4月...新メンバーのマヨ (Vo) とユウタ (Vo) が加入。

5月...コーヘイ (Ba) とマヨ (Vo) が脱退。

6月...新メンバーのコジロー (Ba) が加入。

10月...1st DEMO

2004年

10月...2nd DEMO & KAZUYOSHI入部

2005年

1月...KAZUYOSHI脱退

10月...compilation album 「Vessel Grande!」

2006年

4月...水間 (Dr) が脱退

6月...タカヒロ (Dr) が加入

2007年

8月...compilation album 「real eggs」

## 音楽性

GIGAの音楽はジャンルでいうと、日本でのジャンル分けをするならミクスチャーだ。しかし僕らの中ではそういったイメージはなく、メンバーそれぞれ聴く音楽が全く違う。メンバーが普段どのような音楽を聞いているかという、HIP HOP, レゲエ, ミクスチャー, ラウド, メタル, ポップなどほぼオールジャンルを全員が聞いてカバーしている感じだ。趣味がバラバラでもあり、皆それぞれ守備範囲が広いので重なっている部分もある。そこがGIGAの音楽性のベースになっているのかもしれない。

現在はすべてオリジナルの楽曲だが、結成半年ほどまでは山嵐のコピーをしていた。そこからだ

んだん洋楽に影響を受けるようになってきて、同じ頃、洋楽好きのユウタとコジローが加入して、自然にバンドとしてグローバルな方向を志すようになった。ただ、単に洋楽の真似に終わるのではなく、自分たちのオリジナリティは出していきたいと思って、今の形になった。

歌詞は基本的にテラとユウタで書いている。曲は大体ギターのホリピーがフレーズを持ってきて、皆で試行錯誤し、それぞれの意見を尊重しながら一つの曲にしていく。

### 主な活動内容, 方向性

福井は、都会に比べて情報も少なく、TVに出ているメジャーな人に興味が集中するところがある。だから、まずは私たちのようなバンドが活躍できる「場」や「シーン」というものを福井に作りたい。私たちに共感してくれるアーティストを集めてイベント等も企画して、もっと盛り上げたいと思っている。

今まで福井では、クラブシーンとバンドの音楽の関わりがなかった。その2つのジャンルの間にある壁を壊すようなものにしたい。簡単に言えば、ライブがあって、合間にHIP HOPのダンスやMCがあって、またライブがある...そんなイベントを企画したくて“Sound Collage”が始まったのである。これが福井のシーン全体を盛り上げていけるようなものになるといいと思っている。一つのことにとらわれていたら何もできない。「音楽のジャンルは関係ない」。お客さんとアーティストが、同時に、その空間でしか体験できないことを楽しめればいいのだから。

2007年12月30日に開催されたSound Collage vol. 5では地元バンドだけでのライブで、約200人もの人が集まり、盛大に行うことができた。

GIGA Official GOODSも販売しており、Tシャツ(全4パターン、S,M,L,XL)、ステッカー、コンプレッションアルバム「Vessel Grande!」「real eggs」等がある。

### ELEMENTAL HUMAN NATURE

[自然のままの人間性]

という言葉掲げて私たちは活動をしている。Rock,Metal,Hip hop,Reggae,Dubなどリアルタイム

に感じる多様な要素を、音楽の壁を越えて自分達の音で表現していくスタイル。それはジャンルや場所を超えて、日常生活のすべてのものとなつながら可能性がある。

常に進化を続けるサウンドをクリエイトし、音楽を楽しむ場を提供していく。それが今の"Sound Collage"となり、次は第6回目を迎える。

### これまで登場したメディア

2007 / 9 / 15 “audiolife” (音楽共有サイト)

2007 / 9 / 15 福井新聞webチョコキッ

2006 / 10 / 14 福井・北陸エリアのインディーズバンドを紹介するPodcast第63回mpodccast「Wool! Radio」

2006 / 7 / 21 JASRAC (日本著作権協会) GIGAインタビュー

その他、FM福井、ラジオにも5回出演。また、福井ケーブルテレビで2007年12月の一ヶ月間、プロモーションビデオ“junguely”連続放送。

### GIGA PROMOTION VIDEO “junguely” 概要

GIGA代表曲 “junguely” 収録 @福井松木屋

花月店 倉庫

出演 GIGA

TDIE etc...

協力 雷帝

総監督 FAITH TRIBE

岡崎 修一

堀川 裕司

撮影 岡崎 修一

撮影協力 瞿曇 顕子

映像編集 FAITH TRIBE

GIGA

音楽編集 小林 夏樹

協賛 MATSUKIYA/Kagetsurock

PUNCH LINE COLLECTION

CHOP

SOUL POWER

このPVは松木屋Kagetsurockの倉庫を借り、GIGAと、ダンサーのTDIE(とその仲間)を迎えて撮影を行った。アクションの大きい画を撮りたかったので、ダンサーに協力してもらった。また、交

遊の深いバンド、雷帝もエキストラとして参加してもらった。

編集はFinal Cut Proを使用。GIGA全員で意見を出し合いながらFITH TRIBEで編集した。また、楽曲のレコーディング、編集、マスタリングは、石川の小林夏樹さんにしてもらった。今までの音源のほとんどが小林さんのスタジオで録ったものだ。

曲のコンセプトは、“コンクリートジャングルと称した現代社会に対し、ゲリラの名の下に戦いを挑む”というものだったので、コンクリの打ちっぱなしの部屋に、迷彩柄のパンツを揃えて履くという演出をした。撮影は夜で、照明も白熱灯を3本と蛍光灯を少し使用しただけの暗めの演出。

曲のブレイクなど、キメの部分では足並みを揃えたジャンプなど、基本的に曲調に合わせた撮り方で、所々おもしろおかしく、ちゃらけた部分も入れた。

二回目のメロの部分では、歌い手は1人だが、何人かで同じフレーズを歌い、画をどンドンスライドさせていくというユニークな方法で編集した。



## LYRICS

Junguelly <sup>1</sup>

(コンクリートジャングルと称した現代社会に対し、ゲリラの名の下に戦いを挑む)

City that reflect in mirror. I name it "Action killer". Wake up! Stand up! ひょっとすりゃGlow up? Step step in da flor. I still make some noise. ret me go head direction beet. heat しなshow it off. eim set snd bang!

ここはルールなしの戦場 GHETTO揺さぶる under groundちっか <sup>2</sup>やべえぞ クチだけのためえにやぜってえ負けねーぞ スキル数段上密林ラウド 格闘で創造し命吹き込む動き出す音色 放つ大砲 ド頭にone shotぶちこむ It's a 依存症 巻き起こせ暴動

ジャンゲリゲリラ291エリア <sup>3</sup>から発信叫びな fuckだメディア即ケリだ year break down ついてきな make some noise

gona gona make it possible flexible make symbol growing up. simpleな戦場での連勝、計画なくGo ing ジャンゲリラ I still make some noise. let me go need direction neat. get in すりゃ You'll be gone...eim set bang!

ジャンゲリぐるーっと徘徊で頭ん中グルグル perfect drug センスある7人が作り出す芸術 巧みな戦術でこの場を制する all da same じゃつまんねえ GIGA式で突き進むこのone way他とは違う何かを感じとれWe are mother fuckin' GIGA

ジャンゲリゲリラ291エリアから発信叫びな fuckだメディア即ケリだ year break down ついてきな make some noise

Time is now change so high.Have arms! that call "mean" scream now ! 「It's my soul」 hold on yo ur feeling...

check check check one two one two mother fucki

## GIGA PROMOTION VIDEO"jungelly"/ GIGA LIVE DVD

n'ジャングリ It's a brand new くだけちる全身貫  
通 血沸き肉踊る 研ぎ澄ませ第6感  
覚めないハイボルテージ keep it ... おれたちの...

ジャングリゲリラ291エリアから発信叫びな  
fuckだメディア即ケリだ year break down ついて  
きな make some noise

- 1 "jungelly" 造語
- 2 ちっか 福井弁で「すごく」
- 3 291エリア フクイエリア



## GIGA LIVE DVD 概要

Sound Collage vol.2収録 @福井CHOP

1. Opening
2. Heart Break Tuner
3. GIGA style'06
4. jungelly
5. Wah Channel
6. Surface
7. ONE LOVE
8. Cross Counter
9. Ending

出演 6 acid society  
FALL OUT BEGGERS  
AVATH  
雷帝  
GIGA  
PA 小林 夏樹  
DJ TOMO  
駒田 拓也  
撮影 GIGA  
瞿曇 顕子  
映像編集 成山 勲英  
映像編集協力 瞿曇 顕子  
音楽編集協力 小林 夏樹  
協力 CHOP  
PUNCH LINE COLLECTION  
CAPTEIN KEBAB

このライブはGIGA主催、企画のSound Collage vol.2を収録したものである。音楽のジャンルの壁を超えたイベントを企画したかったのでメタル、ミクスチャー、グランジアコースティック、メロコアなど、色々な音楽をコラボレーションさせた。また、DJを迎え、バンド間の転換や、DJタイムを設けてライブハウスにいながらにして、ダンスホールのな踊れる空間も演出した。

ライブ以外にも服屋の“PUNCH LINE COLLECTION”や、軽いスナックなどを提供する“CAPTEIN KEBAB”も呼んで、ライブだけではない楽しみもある。ライブ終了後のENDINGでは“PUNCH LINE COLLECTION”提供で、10着あまりのTシャツをお客さんにプレゼントすることができた。

撮影はカメラを2台使い、固定カメラと、手持ちのカメラというシンプルな編集構成になっている。編集はアドビプレミアプロを使用。音楽はカメラの生音録りと、ステージ上のそれぞれのマイク、ライン録りの音を混ぜて使用している。

映像の始まりはライブハウスのドアから入り、終わりは看板の電気が消えるという演出をした。一曲ずつのチャプタも設定し、エンドロールも付け加えた。ENDINGが終わった後には、打ち上げの様子を何枚も差し込み、楽しげな様子を表現して幕を閉じている。

ちなみにこのDVDはLIVEの物販で一枚500円で販売している。



GIGA OFFICIAL WEB SITE

<http://giga291.web.fc2.com/>

携帯サイト

<http://fhp.from.jp/giga/>

プロモーションビデオ映像 / ライブ映像 (ダイジェスト) 公開サイト

<http://media-tukuru.jp/nariyama.html>

